



富良野支局
〒076-0032
富良野市若松町14番1
0167・23・2019
FAX23・2796

旭川支社
〒070-8720
旭川市4条通9丁目
旭川北洋ビル
報道 0166・21・2516
FAX21・2517
販売 21・2533
広告 21・2539

北海道新聞の
生活情報フリーペーパー

道新 ななかまど

旭川市内・近郊に17万部発行!

町営ラーチの思い出忘れない



ホテルの利用客から贈られた花やメッセージカードを見つめる佐々木支配人

南富良野 あす営業終了、宿泊客ら花束



2日で営業を終了する南富良野町営の「かなやま湖ログホテルラーチ」本館

【南富良野】町営の「かなやま湖ログホテルラーチ」が2日、営業を終了する。最終日が近づいた9月30日、常連客らで宿泊は満室、ランチも満席となった。施設は今後、

道内ホテル大手鶴雅ホテルディングス（HD、釧路市）の傘下企業がリニューアルを進め、2027年のオープンを目指す。

ラーチは1994年開業。ログハウス風の本館（9室）とコテージ9棟を備える。町振興公社が指定管理者となり運営してきたが赤字が続ぎ、町が財政支援してきた。町は今年4月に鶴雅HDとの協定を結び、観光振興と一体で再建を進めることにし、9月の町議会で建物の譲渡を決めた。

ホテルのフロントには、宿泊客から贈られた花や「楽しい思い出いっぱい」「数え切れない優しい時間を過ごさせてもらった」などのメッセージカードが飾られた。佐々木茂支配人（56）は「さみしい気持ちはあるが、ホテルが生まれ変わることによって町が活気づくのが楽しみ」と話した。

町民にとっても身近な存在だった。南富良野高生を対象に、17年間「アーブルマナー」講座を実施。

9月22日に最後の講座が開かれ、3年生の佐々木愛唯さん（18）は「『一番のマナーは食事を楽しむこと』という言葉で楽しく学べた」と話す。

建物は11月に譲渡し、土地は今後売却予定。鶴雅HDによると、レストランを新設するほか、現在の建物は全て改装しながら使用する方針だという。現在設計中で、来年着工を目標にしている。高橋秀樹町長は「森林のマチのシンボルとして30年間頑張ってくれた。より良いホテルになって、町民や観光客にたくさん利用してもらいたい」と語った。（川上舞）